

CE790

日本語版ユーザーマニュアル



本ドキュメントについて

本書は ATEN ジャパン株式会社において、CE790 取り扱いの便宜を図るため、英語版ユーザーマニュアルをローカライズしたドキュメントです。

製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告無く変更されることがあり、本日本語版ユーザーマニュアルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。

製品をお使いになるときは、英語版ユーザーマニュアルにも目を通し、その取扱方法に従い、正しく運用を行ってください。詳細な製品仕様については英語版ユーザーマニュアルの他、製品をお買い上げになった販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATEN ジャパン株式会社

技術部

TEL :03-5615-5811

MAIL :support@atenjapan.jp

2014年10月24日

ファームウェア Ver. 2.1.204 版

ユーザーの皆様へ

本マニュアルに記載された全ての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元である ATEN International により、予告無く変更されることがあります。製造元 ATEN International は、製品および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を必ずしも満たすものではございません。

キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意のうえ、正しくお使いください。

ATEN ジャパン製品保証規定

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、すべてを無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』およびユーザーマニュアルをお読みになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りください。

また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応といたしますのでご注意ください。

- ◆ 使用上の誤りによるもの
- ◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故等によるもの
- ◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
- ◆ 購入日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
- ◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
- ◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズム等の予期しない災害によって故障、破損したもの
- ◆ 日本国外で使用されたもの
- ◆ 日本国外で購入されたもの

【製品保証手順】

弊社の製品保証規定に従いユーザーが保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社宛に連絡を行ってください。

(1) 不具合の確認

製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口にご連絡の上、製品の状態を確認してください。この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。

(2) 本規定に基づく製品保証のご依頼

(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『お客様の製品購入日が証明できる書類』を用意して、購入した販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。

(3) 製品の発送

不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品/液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

①通常製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～3年間	無償修理
	3年以上	有償修理※2
②液晶ディスプレイ搭載製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～2年間	無償修理
	2年以上	有償修理※2

※1…製品購入日から30日以内に確認された不具合は初期不良とし、新品交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。

※2…有償修理の金額は別途製品を購入された販売店までお問い合わせください。

※ケーブル類、その他レールキット等のアクセサリ類は初期不良の際の新品交換のみ、承ります。

※EOL (生産終了)が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。また EOL 製品の修理に関して、上記無償修理期間中であっても、部材調達の都合等により修理不可になる可能性がございます。そのような場合には、機能同等品による良品交換のご対応となる可能性がございます。

【補足】

- ・本規定は ATEN 製品に限り適用します。
- ・ケーブル類は初期不良対応に準じます。
- ・初期不良による新品交換の場合は、ATEN より発送した代替品の到着後、5 営業日以内に不具合品を弊社宛に返却してください。返却の予定期日が守られない場合は弊社から督促を行います。それにも係わらず不具合品が返却されない場合は、代替機相当金を販売代理店経由でご請求いたします。
- ・ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、すべて有償修理とさせていただきます。

【免責事項】

1. 弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を、必ずしも満たすものではございません。
2. キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。
3. 他社製品のKVMスイッチ、キーボード・マウスコンバーター、キーボード・マウスエミュレーター、KVM エクステンダー等との組み合わせはサポート対象外となりますが、お客様で自己検証の上であれば、使用を制限するものではありません。
4. 製品に対する保証は、日本国内で使用されている場合のみ対象とさせていただきます。
5. 製品やサービスについてご不明な点がある場合は、弊社技術部門までお問い合わせください。

製品についてのお問い合わせ

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

購入前のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 営業部 TEL:03-5615-5810 MAIL:sales@atenjapan.jp
購入後のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 技術部 TEL :03-5615-5811 MAIL :support@atenjapan.jp

目次

ユーザーの皆様へ	i
ATEN ジャパン製品保証規定	ii
EMC 情報	3
RoHS.....	3
SJ/T 11364-2006	4
安全にお使い頂くために.....	5
全般	5
ラックマウント	7
同梱品.....	8
本マニュアルについて.....	9
マニュアル表記について.....	10
第1章 はじめに.....	11
製品概要.....	11
特長.....	12
システム要件.....	13
コンソール.....	13
コンピューター	13
ケーブル	13
解像度	14
製品各部名称	15
CE790T (トランスミッター) フロントパネル	15
CE790R (レシーバー) フロントパネル	16
CE790T/CE790R リアパネル.....	17
サイドパネル.....	17
第2章 ハードウェアのセットアップ.....	18
ラックマウント.....	18
セットアップ.....	20
製品の接地.....	20
1対1で使用する場合のセットアップ方法.....	22
1対1で使用する場合の接続図	23
イーサネット経由で使用する場合のセットアップ方法.....	25
イーサネット経由で使用する場合の接続図.....	27
第3章 OSD 操作方法.....	28

概要.....	28
LED 表示.....	28
OSD の起動.....	29
OSD メイン画面.....	30
CE790T.....	30
CE790R.....	30
OSD ナビゲーション.....	31
OSD 機能.....	32
VIDEO QUALITY (CE790T のみ).....	32
SPEAKER.....	32
MIC.....	33
DESTINATION (CE790T のみ).....	33
SOURCE (CE790R のみ).....	34
CONFIGURATION.....	35
RETURN.....	37
デフォルト IP アドレス.....	38
OSD 機能一覧.....	38
CE790T.....	38
CE790R.....	39
第 4 章 ファームウェアアップグレード ユーティリティー.....	40
はじめに.....	40
アップグレードの開始.....	41
アップグレード成功.....	42
付録.....	43
製品仕様.....	43
トラブルシューティング.....	45
概要.....	45
SPHD コネクターについて.....	46

EMC 情報

FCC(連邦通信委員会)電波干渉声明

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則の Part15 に準拠したデジタル装置 Class A の制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、商業目的の使用において、有害な障害が発生しないよう、基準に沿った保護を提供する為のものです。

この操作マニュアルに従わずに使用した場合、本製品から発生するラジオ周波数により、他の通信機器に影響を与える可能性があります。

また、本製品を一般住宅地域で使用した場合、有害な電波障害を引き起こす可能性もあります。その際には、ユーザーご自身の負担で、その障害を取り除いてください。

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則の Part15 のデジタル装置 Class A の規定に準拠しています。動作は次の 2 つの条件を前提としています。(1)本製品による有害な干渉が発生しない。(2)本製品は、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信した干渉を全て受け入れる。

FCC による注意:本コンプライアンスに対する責任者による明確な承認を得ていない変更または改良を行った場合は、ユーザーの本装置を操作する権利を無効とします。

CE による注意:本製品は Class A に準拠した製品です。本製品をご家庭で使用した場合、電波干渉を引き起こす可能性があります。その際は、ユーザーご自身にて、適切な処置を行ってください。

提案:FCC および CE 規格を確実に順守するために、STP ケーブルを使用するようにしてください。

RoHS

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称 RoHS 指令に準拠しております。

SJ/T 11364-2006

The following contains information that relates to China.

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅	汞	镉	六价铬	多溴联苯	多溴二苯醚
电器部件	●	○	○	○	○	○
机构部件	○	○	○	○	○	○

- : 表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在SJ/T 11363-2006规定的限量要求之下。
- : 表示符合欧盟的豁免条款, 但该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。
- ×: 表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。



安全にお使い頂くために

全般

- ◆ 本製品は、屋内での使用に限ります。
- ◆ 製品に同梱されるドキュメントは全てお読みください。またドキュメント類は全て保存してください。また、弊社 Web サイトに掲載のオンラインユーザーマニュアルもご確認ください。
- ◆ 製品に関する注意・説明に従って取り扱ってください。
- ◆ 落下による事故・製品の破損を防ぐため、設置場所は不安定な面(台車、簡易的なスタンドやテーブル等)を避けるようにしてください。
- ◆ 製品が水に濡れるおそれのあるような場所で使用しないでください。
- ◆ 製品は熱源の近く、またはその熱源の上などで使用しないでください。
- ◆ 製品のケースには必要に応じて通気口が設けられています。通気口のある製品は、安定した運用を行うため、また製品の過熱を防ぐために、開口部を塞いだり覆ったりしないでください。
- ◆ 製品をベッドやソファ、ラグなどの柔らかいものの上に置かないでください。開口部が塞がれ、適切な通気が確保できずに製品が過熱する恐れがあります。
- ◆ 製品にいかなる液体もかからないようにしてください。
- ◆ 電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、乾いた雑巾でプラグ周りのホコリを掃除してください。液体やスプレー式のクリーナーは使用しないでください。
- ◆ 製品はラベルに記載されたタイプの電源に接続して運用してください。電源タイプについて不明な場合は、購入された販売店もしくは電気事業者にお問い合わせください。
- ◆ お使いの装置への損傷を避けるためにも、すべての装置を適切に接地するようにしてください。
- ◆ 電源コンセントの形状が異なりプラグを接続できない場合には電気事業者に問い合わせで適切に処置してください。アース極を無理に使用できない状態にしないでください。使用される国/地域の電源形状に従ってください。
- ◆ 電源コードやケーブルの上に物を置かないでください。人が通行するような場所避けて電源コードを設置してください。
- ◆ 電源の延長コードや電源タップを使用する場合は、合計容量とコードまたはタップの仕様が適合していることを確認してください。電源コンセントにつながれている製品全ての合計アンペア数は 15 アンペアを超えないようにしてください。
- ◆ 突然の供給電力不安定や電力過剰・電力不足からお使いのシステムを守るために、サージサプレッサー、ラインコンディショナー、または無停電電源装置(UPS)をご使用ください。

- ◆ システムケーブルや電源ケーブルは丁寧に取り扱いってください。これらのケーブル類の上には何も置かないようにしてください。
- ◆ 危険な電圧ポイントへの接触やショートによって、発火したり感電したりするおそれがありますので、キャビネットのスロットには何も挿入しないでください。
- ◆ 装置をご自身で修理せず、ご不明な点がございましたら技術サポートまでご相談ください。
- ◆ 下記の現象が発生した場合、コンセントをはずして技術サポートに修理を依頼してください。
 - 電源コードが破損した。
 - 装置の上に液体をこぼした。
 - 装置が雨や水にぬれた。
 - 装置を誤って落下させた、ないしはキャビネットが破損した。
 - 装置の動作に異変が見られる。(修理が必要です)
 - 製品マニュアルに従って操作しているにもかかわらず、正常に動作しない。
- ◆ 技術サポートの修理が必要となる故障が発生するおそれがありますので、製品マニュアルに従って操作してください。

ラックマウント

- ◆ ラックでの作業を始める前に、スタビライザーがラックに固定され床に接していること、また、ラック全体が安定した場所に置かれていることを確認してください。作業する前に、シングルラックにフロントとサイドのスタビライザーを取り付けるか、結合された複数のラックにフロントスタビライザーを取り付けてください。
- ◆ ラックには下から上に向かって、一番重いアイテムから順番に取り付けてください。
- ◆ デバイスを拡張する前にラックが水平で安定していることを確認してください。
- ◆ ラックに供給する AC 電源の分岐回路が過剰供給にならないようご注意ください。ラック全体の電源負荷は分岐回路の 80%を越えないように設定する必要があります。
- ◆ ラックにマウントされたデバイスは、電源タップも含め、すべて正しく接地されていることを確認してください。
- ◆ ラックへの通気を十分に確保してください。
- ◆ 本製品で定められている保管温度を超えないように、ラックが設置されている場所の室温を調節してください。
- ◆ ラックに設置されているデバイスが動作している際に、デバイスを踏んだりデバイスによじ登ったりしないでください。

同梱品

CE790 製品パッケージには下記のアイテムが同梱されています。

- ◆ CE790T IP-KVM エクステンダー(トランスミッター) ×1
- ◆ CE790R IP-KVM エクステンダー(レシーバー) ×1
- ◆ USB KVM ケーブル(CE790T) ×1
- ◆ 電源アダプター ×2
- ◆ ラックマウントキット ×2
- ◆ 多言語版クイックスタートガイド ×1

上記のアイテムがそろっているかご確認ください。万が一、欠品または破損品があった場合はお買い上げになった販売店までご連絡ください。

本ユーザーマニュアルをよくお読みいただき、正しい使用方法により、本製品および接続する機器を安全にお使いください。

本マニュアルについて

このユーザーマニュアルは、CE790 に関する情報や使用法について説明しており、取り付け・セットアップ方法、操作方法のすべてを提供します。

マニュアル構成は下記のようになっています。

- 第1章 はじめに:** CE790 を紹介します。また、特長、機能概要および製品各部名称について説明しています。
- 第2章 ハードウェアのセットアップ:** 製品を安全かつ効率よくセットアップするのに必要な手順について説明しています。
- 第3章 OSD 操作方法:** 製品の機能概要および CE790T/CE790R のオンスクリーンディスプレイ(OSD)の操作方法について説明しています。
- 第4章 ファームウェアアップグレードユーティリティ:** お使いの CE790 のファームウェアを最新のバージョンにアップグレードする方法について説明します。
- 付録** 製品の仕様および関連する技術情報や操作方法について説明しています。

マニュアル表記について

[] 入力するキーを示します。例えば[Enter]は**エンター**キーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl + Alt]のように表記してあります。

1. 番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。

◆ ◆印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。

→ 矢印は操作の手順を示します。例えばStart → Run はスタートメニューを開き、Run を選択することを意味します。



重要な情報を示しています。

※本マニュアルに記載されている商品名・会社名等は、各社の商標ならびに登録商標です。

第1章 はじめに

製品概要

CE790 は、Auto-MDIX 機能搭載、RS-232 シリアルインターフェースに対応し、リモート側の USB コンソール(USB キーボード、モニター、USB マウス)からイーサネット経由でコンピューターにアクセスできる、IP-KVM エクステンダーです。

本製品は、コンピューターに接続するトランスミッター(CE790T)と、延長先でコンソールを接続するレシーバー(CE790R)から構成されています。本製品はリモートコンソールからイーサネット経由でコンピューターにアクセスすることができます。このため、コンソールはアクセスしやすい場所に設置し、一方、コンピューターは、例えばチリやホコリにまみれた工場や工事現場のような過酷な環境から離れた、安全な場所に設置するといったことが可能になります。

CE790 は、コンピューターを安全な場所に設置しながら、コンソールはユーザーがアクセスしやすい場所に設置できますので、管理やセキュリティの点に置いてもメリットがあり、機密性の高いデータを扱うシステムの管理に最適な製品です。

CE790 は既存製品から下記の点において機能が向上しました。

- 1) トランスミッター、レシーバーともに、セットアップや操作が直感的にできるオンスクリーンディスプレイ(OSD)を搭載
- 2) コストが安価なカテゴリ 5e ケーブルを使ってイーサネット上にセットアップし、KVM スイッチを新たに導入することなく、1 対 1、1 対多、多対多の使用が可能
- 3) トランスミッター、レシーバーともに、シリアルターミナルやタッチパネル、バーコードリーダー等のシリアルデバイスに接続可能な RS-232 ポートを搭載
- 4) ローカルユニットには、KVM スイッチが簡単に増設できる専用 KVM ポートを搭載
- 5) 信頼性と互換性に優れたカスタム ASIC を搭載

OSD 搭載、RS-232 対応、Auto MDIX 対応という特長を備えた CE790 は、最もコストパフォーマンスが高く便利な方法で、イントラネットのどこからでもワークステーションを自由に操作することのできるソリューションです。

特長

- ◆ PC の USB コンソールをイーサネット経由で延長できる IP-KVM エクステンダー
- ◆ トランスミッター/レシーバーに接続された USB コンソールから同一 PC の操作が可能
- ◆ OSD 対応。使いやすいインターフェースで設定も簡単
- ◆ GUI 操作に対応¹
- ◆ USB キーボードポート、USB マウスポート搭載
- ◆ RS-232 対応² - シリアルターミナル、タッチスクリーン、バーコードリーダー等のシリアルデバイスが接続可能
- ◆ オーディオ対応 (ステレオスピーカーおよびマイクロフォン)
- ◆ USB 過電流保護・防止機能搭載
- ◆ 解像度 - 最大 1,920×1,080
- ◆ 高画質ビデオモード
- ◆ ホットプラグ対応
- ◆ Web ブラウザ経由でのファームウェアアップグレード対応
- ◆ Auto-MDIX 対応 - ケーブルの種類(ストレート/クロス)を自動判別
- ◆ ワイド画面のフォーマットに対応³

注意

1. CE790 のアプリケーションおよび GUI 操作に関する説明は、ATEN の Web サイトからダウンロードすることができます (<http://www.atenjapan.jp>)。
 2. 本製品の RS-232 シリアルポートで対応している信号は、Tx と Rx 信号のみです。
 3. ワイド画面からの EDID データは、ローカル側のビデオ出力ポートから送出されます。ワイド画面用モードやワイド画面对応のディスプレイの場合には、モニターをローカル側のビデオ出力ポートに接続するか、ATEN の EDID エミュレーターをお使いください。
-

システム要件

コンソール

- ◆ お使いの機器構成において、最も高い解像度に設定されているコンピューターの画面が表示できる VGA、SVGA、SXGA、UXGA またはマルチスキャンモニター

注意: トランスミッターユニット(CE790T)に DDC タイプのモニターを接続して使用する場合、レシーバーユニット(CE790R)に接続されたモニター側でもこの DDC モニターの最大解像度がサポートされていなければなりません。

- ◆ USB キーボード

注意: トランスミッター側とレシーバー側には同一モデルの USB キーボードを使用する必要はありませんが、多機能キーボードを使用する場合は標準 104 キーに限定されます。

- ◆ USB マウス

注意: トランスミッター側とレシーバー側には同一モデルの USB マウスを使用する必要はありませんが、各 OS の標準デバイスドライバーで動作する左ボタン、右ボタン、スクロールがそれぞれサポートされていなければなりません。この条件に合致しないマウスはお使いいただけませんので、ご注意ください。

コンピューター

本製品に接続するコンピューターには以下のハードウェア環境が必要です。

- ◆ VGA、SVGA、SXGA、UXGA、マルチシンクビデオカード
- ◆ USB ホストコントローラーおよび USB タイプ A ポート

ケーブル

- ◆ 理想的な状態でデータ転送を行うためにも、またシステムのレイアウトを単純化させるためにも、本製品に同梱されている KVM ケーブルをご使用ください。

解像度

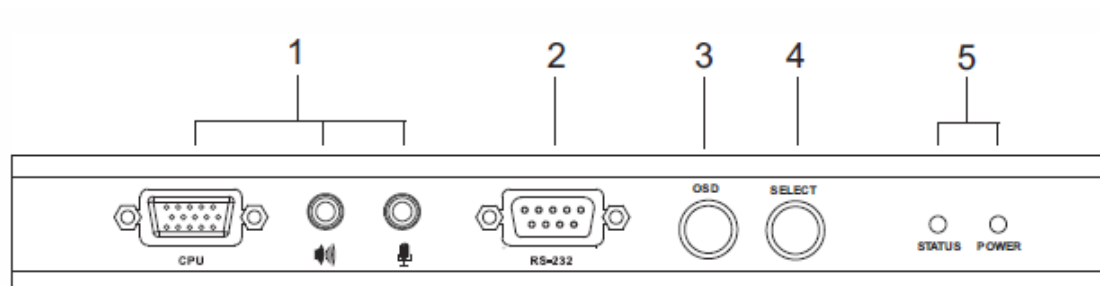
本製品がサポートする解像度は下表のとおりです。

解像度	@ Hz	仕様規格
640×480	60	IBM VGA
	72, 75	VESA
800×600	56, 60, 72, 75	
1,024×768	60, 70, 75	VESA
1,152×864	75	Apple Mac II
1,280×768	60	VESA STD
1,280×960		
1,280×1,024		
1,280×1,024	75	
1,360×768	60	
1,152×864	75	
1,440×900	60	
1,680×1,050		
1,920×1,080		

注意 アナログ信号の特性により、高解像度ほど画面がぼやけたり、にじみが発生しやすくなります。

製品各部名称

CE790T (トランスミッター) フロントパネル

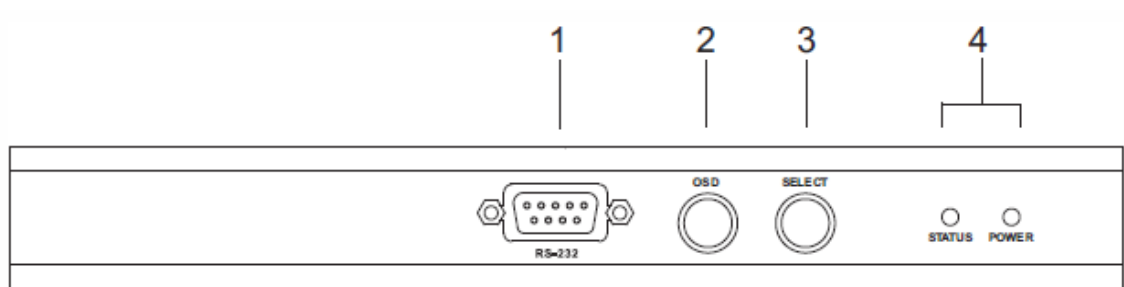


No.	名称	説明
1	KVM ポートセクション	製品同梱の USB タイプの KVM ケーブルを各ポートに接続します。詳細については p.20「セットアップ」をご参照ください。
2	RS-232 シリアルポート	PC 等 DTE に接続する RS-232 シリアルポートです。
3	OSD ボタン	このボタンを押すと CE790T のオンスクリーンディスプレイ(OSD)を起動します。詳細については p.32「OSD 機能」をご参照ください。 OSD ボタン(移動)と選択ボタン(決定)を押して各設定を変更できます。 また、このボタンを押しながら電源をリセットするとファームウェアアップグレードモードを開始します。詳細については p.40「ファームウェアアップグレードユーティリティー」をご参照ください。
4	選択ボタン	このボタンを押すと、OSD メニューの選択中の項目を決定します。詳細は p.38「OSD 機能一覧」をご参照ください。

(表は次のページに続きます)

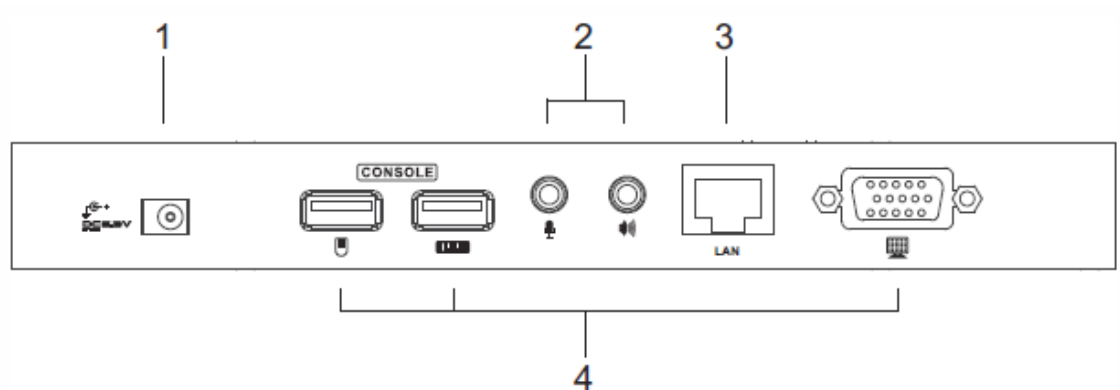
No.	名称	説明
5	LED	CE790T には、ステータスと電源を表す LED が 2 箇所あります。詳細については、p.28「LED 表示」をご参照ください。

CE790R (レシーバー) フロントパネル

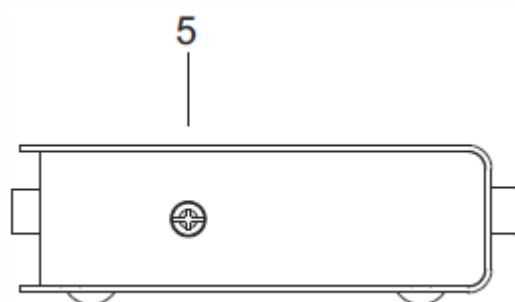


No.	名称	説明
1	RS-232 シリアルポート	タッチパネルやバーコードスキャナーといった RS-232 シリアルデバイスを接続するポートです。
2	OSD ボタン	このボタンを押すと、CE790R のオンスクリーンディスプレイ(OSD)を起動します。詳細については p.38「OSD 機能一覧」をご参照ください。 また、このボタンを押しながら電源をリセットするとファームウェアアップグレードモードを開始します。詳細については p.40「ファームウェアアップグレードユーティリティー」をご参照ください。
3	選択ボタン	このボタンを押すと、OSD メニューの選択中の項目を決定します。。詳細は p.38「OSD 機能一覧」をご参照ください。
4	LED	CE790R には、ステータスと電源を表す LED が 2 箇所あります。詳細については、p.28「LED 表示」をご参照ください。

CE790T/CE790R リアパネル



サイドパネル



No.	名称	説明
1	電源ジャック	DC 電源アダプターのコード部分をここに接続します。
2	オーディオポート	スピーカーを緑色のジャックに、マイクをピンクのジャックにそれぞれ接続します。
3	LAN ポート	CE790T や CE790R に接続しているカテゴリ 5e ケーブルをこのポートに接続し、ユニットをイーサネットに接続します。
4	コンソールポート	コンソールとして使用する USB キーボード、モニター、USB マウスをこの部分に接続します。正しい組み合わせで接続しない場合、OSD が使用できませんのでご注意ください。
5	グラウンドターミナル	アースに使用する接地線をここに接続します。詳細については p.20「製品の接地」をご参照ください。

第2章 ハードウェアのセットアップ

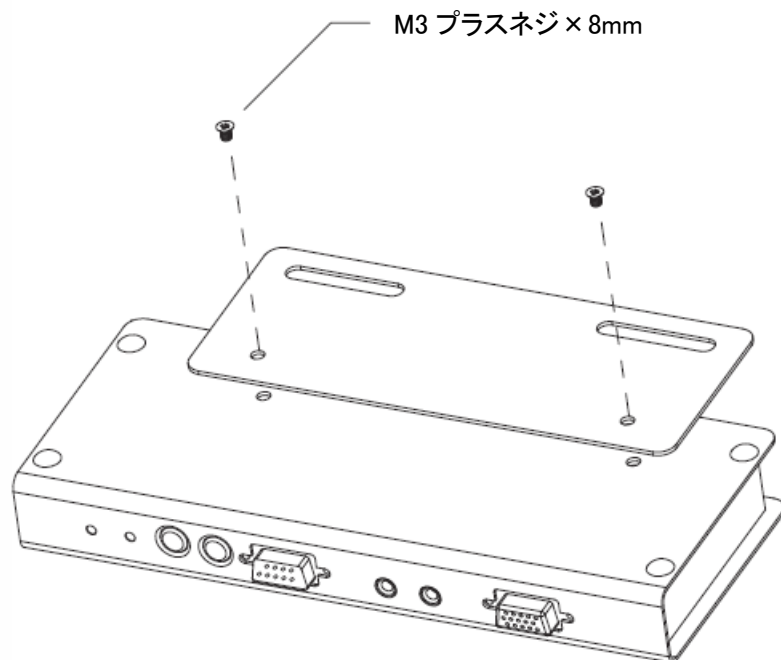


1. 機器の設置に際し重要な情報を p.5 に記載しています。作業の前に、必ず目を通してください。
2. 今から接続する装置すべての電源がオフになっていることを確認してください。キーボード起動機能がついている場合は、コンピューターの電源ケーブルも抜いてください。

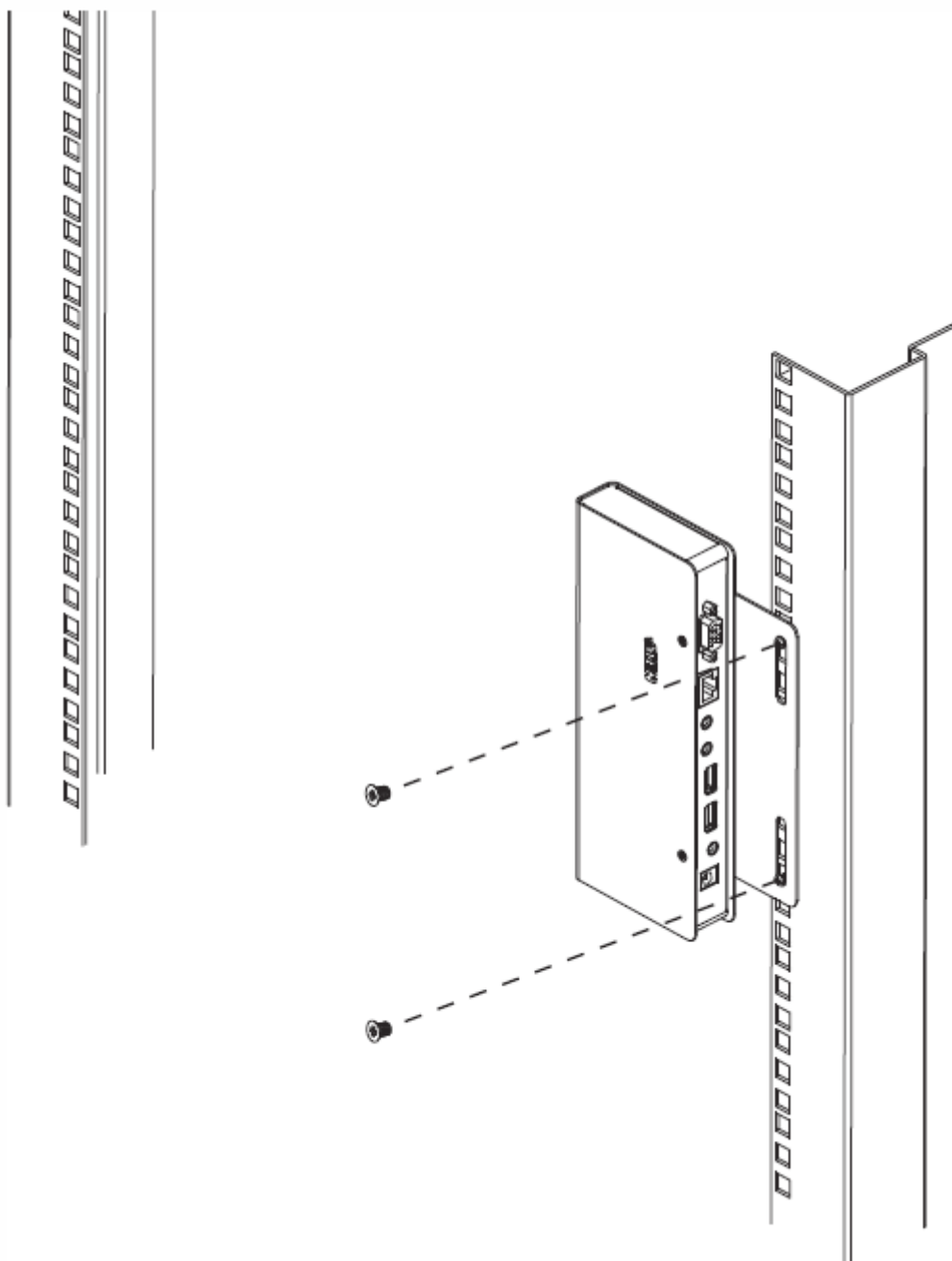
ラックマウント

製品は、システムラックの使いやすいところに自由にマウントしてお使いいただけます。製品をラックにマウントする場合は、下記の手順に従って作業を行ってください。

1. 製品のラックマウントキットに付属しているネジを使って、下図のようにユニットの上部または下部にマウント用ブラケットを取り付けてください。



2. 手順 1 で製品に取り付けたマウント用ブラケットを、ラックの適切な場所にネジ止めしてください。



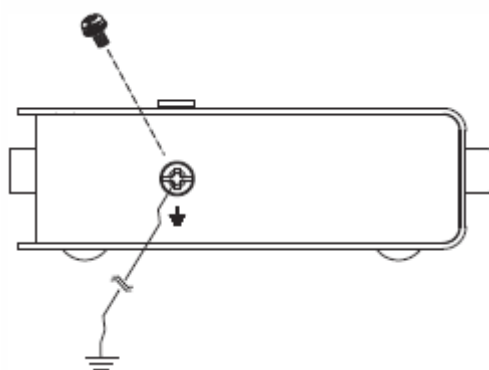
注意: ラックにブラケットを取り付ける際に必要となるネジは製品には同梱されていません。製品をラックにマウントする場合は、お手数ですが、お使いのシステムラックに適したネジを別途ご用意ください。

セットアップ

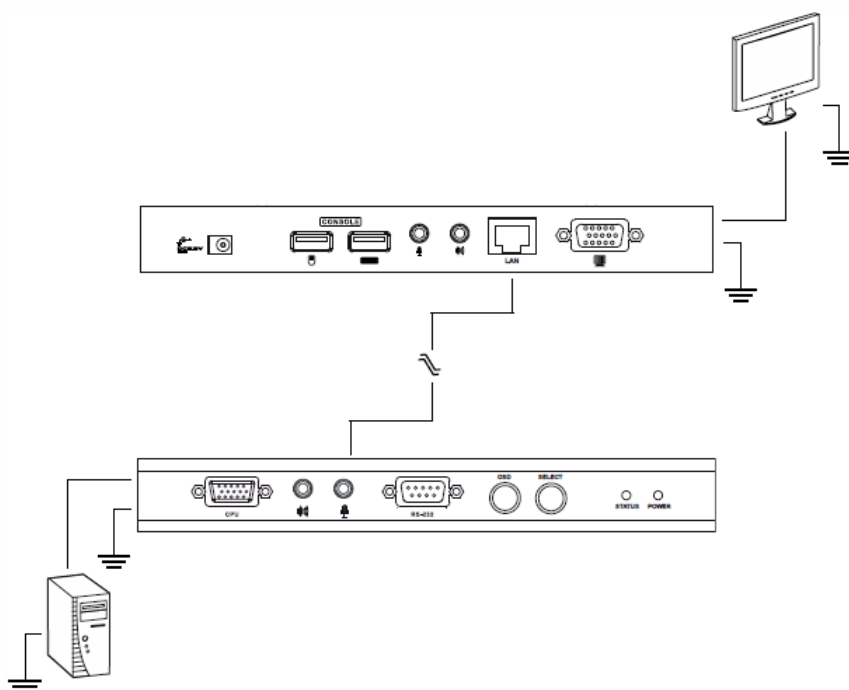
製品の接地

製品への損傷を避けるために、製品の接地を正しく行ってください。

1. 接地線の一端を製品の接地ターミナルに、もう一端を接地物にそれぞれ接続して、各ユニットの接地を行ってください。本製品に接地線は同梱しておりませんので、別途ご用意ください。

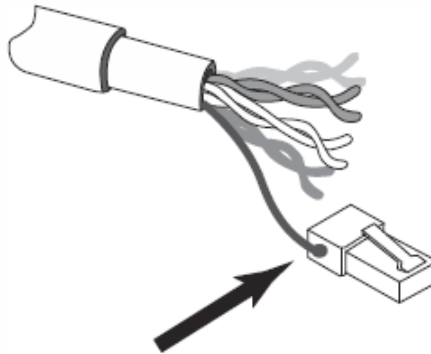


2. CE790T(トランスミッター)に接続されているコンピューター、および CE790R(レシーバー)に接続されているモニターもそれぞれ正しく接地してください。

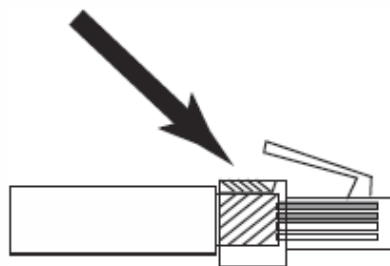


3. 接地の効果を高めるために、各ユニットは STP ケーブルを使って接続してください。方法は 2 種類あります。

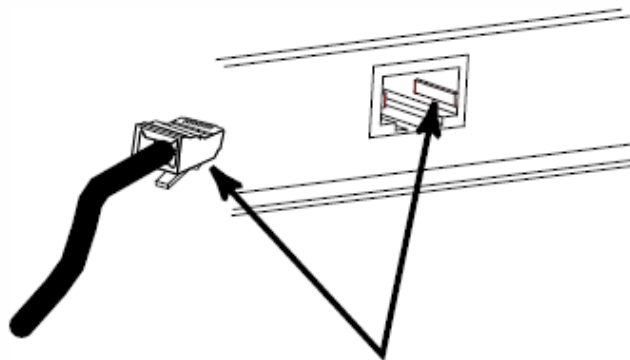
a) STP ケーブルには、信号の伝送に使用する 8 線以外に接地線を有しているタイプがあります。このタイプのケーブルの場合は、接地線を図のように RJ-45 コネクターにはんだ付けしてください。



b) ケーブルシールドをアースとして使用しているタイプは、RJ-45 コネクターの下図の位置がしっかりと固定されていることを確認してください。



いずれの方法においても、下図で示されているとおりに、STP ケーブルが各ユニットの RJ-45 リンクポートとしっかりと接していることを確認してください。



ツイストペアケーブル直結で使用する場合のセットアップ方法

CE790 を 1 対 1 で使用する場合のセットアップに必要な作業はケーブルの配線だけです。

注意: 1 対 1 で使用する場合は、CE790T や CE790R 側で管理者が設定を行う必要はありません。

まず、セットアップに使用するすべての機器の電源が OFF になっていることを確認してください。以下の接続図を参考にしながら、下記の手順に従って作業を行ってください。

1. CE790T 側で、コンソールデバイス(マウス、キーボード、モニター、マイク、スピーカー)をリアパネルの該当ポートにそれぞれ接続してください。ポートにはわかりやすくするため、接続するデバイスのアイコンと PC99 準拠のカラーリングが施されています。
2. 製品同梱の USB KVM ケーブルを、CE790T フロントパネルにあるポートにそれぞれ接続してください。
3. 手順 2 で使用した USB KVM ケーブルの反対側の各コネクタを、コンピューターにそれぞれ接続してください。各コネクタには接続するデバイスのアイコンと PC99 準拠のカラーリングが施されています。

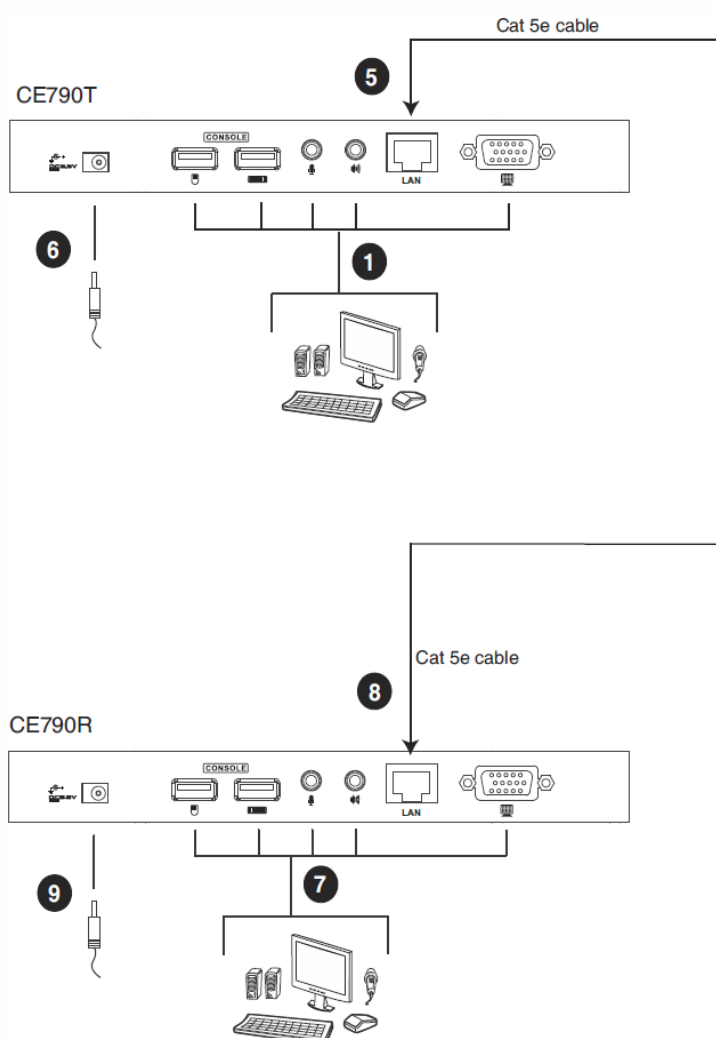
注意: 本製品に KVM スイッチを接続してお使いになる場合は、USB KVM ケーブルの各コネクタを KVM スイッチの該当ポートにそれぞれ接続してください。

4. シリアルデバイスを使用する場合は、CE790T のフロントパネル側の RS-232 シリアルポートをシリアルケーブル(ストレート 全結線 : コンピューター側 メス、トランスミッター側 オス)を別途ご用意した上で接続してください。
5. カテゴリ 5e ケーブルを CE790T のユニットのリア側にある LAN ポートに接続してください。
6. 製品に同梱されている電源アダプターを AC 電源に接続し、このアダプターの電源ケーブルを CE790T の電源ジャックに接続してください。

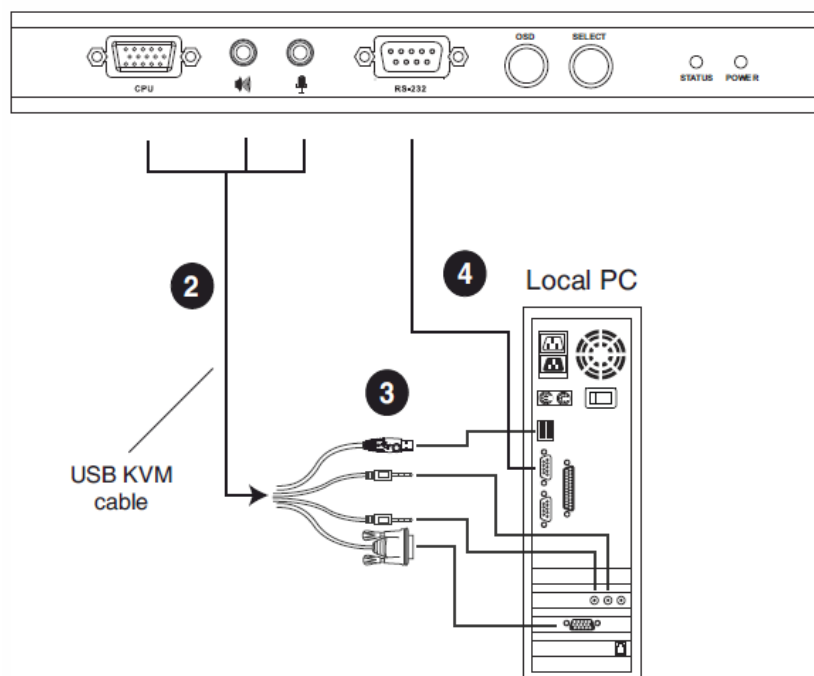
7. 次に、CE790R 側で、レシーバーのコンソールデバイス(マウス、キーボード、モニター、スピーカー、マイク)を CE790R の各ポートにそれぞれ接続してください。
8. カテゴリ 5e ケーブルのもう片方の端を CE790R リア側にある LAN ポートに接続してください。
9. 製品に同梱されている 2 つ目の電源アダプターを AC 電源に接続し、この電源アダプターの電源ケーブルを CE790R の電源ジャックに接続してください。

ツイストペアケーブル直結で使用する場合の接続図

CE790T/CE790R リアパネル



CE790T フロントパネル



注意: シリアルデバイスを CE790 経由で延長する場合は、CE790T と PC を別途購入のシリアルケーブルで結線し、CE790T または CE790R にシリアルデバイスを接続してください。

ネットワークハブ経由で使用する場合のセットアップ方法

ネットワークハブ経由で本製品を使用するには、1対1、1対多、多対多の3つの通信方法があります。1対多、または多対多で使用する場合は、CE790TとCE790Rをそれぞれ複数台使用し、同一のイーサネット上でトランスミッターとレシーバーを接続して使用します。

-
- 注意:**
1. CE790T/CE790R は工場出荷時にデフォルトのネットワーク情報が設定されています。製品を1対1で使用する場合は、これらのデフォルトのネットワーク情報を変更する必要はありません。詳細については p.38「デフォルト IP アドレス」をご参照ください。
 2. 同一のイーサネットネットワークにおいて 1対多または多対多で使用する場合は、CE790T/CE790Rにはそれぞれ固有の IP アドレスを設定してください。詳細については p.35「CONFIGURATION」をご参照ください。
 3. 多対多、1対多で使用する際には、データスループットの低下を防ぐために IGMP 対応のハブをご利用ください。
 4. 本製品は Gateway 機能が無いため、異なるネットワークセグメントにあるトランスミッター、レシーバーと通信はできません。
 5. 本製品は既存のネットワークに組み込まず、専用のネットワークでご利用ください。既存のネットワークで共用すると、他のネットワーク機器に動作不具合を起こす可能性があります。
-

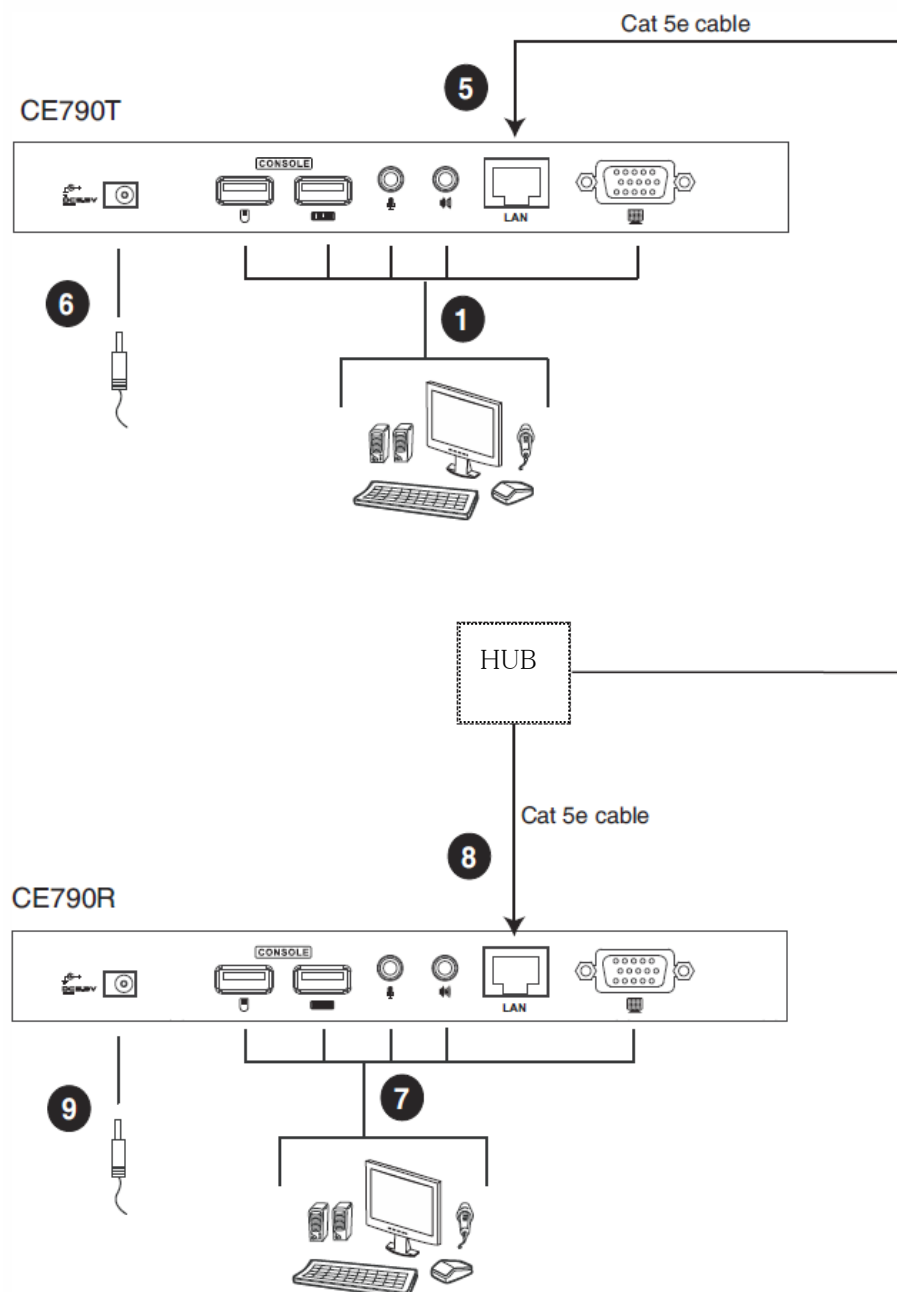
まず、すべての機器の電源が OFF になっていることを確認してください。以下の接続図を参考にしながら、下記の手順に従って作業を行ってください。

1. CE790T 側で、コンソールデバイス(マウス、キーボード、モニター、マイク、スピーカー)が CE790T リアパネルのポートにそれぞれ接続してください。ポートにはわかりやすくするため、接続するデバイスのアイコンと PC99 準拠のカラーリングが施されています。
2. 製品同梱の USB KVM ケーブルを、CE790T フロントパネルにあるポートにそれぞれ接続してください。
3. 手順2で使用した USB KVM ケーブルの反対側の各コネクタを、コンピューターにそれぞれ接続してください。各コネクタには接続するデバイスのアイコンと PC99 準拠のカラーリングが施されています。

4. シリアルデバイスを使用する場合は、CE790T のフロントパネル側の RS-232 シリアルポートをシリアルケーブル(ストレート 全結線 : コンピューター側 メス、トランスミッター側 オス)を別途ご用意した上で接続してください。
5. カテゴリ 5e ケーブルを CE790T のユニットのリア側にある LAN ポートに接続し、このケーブルをイーサネットに接続してください。
6. 製品に同梱されている電源アダプターを AC 電源に接続し、このアダプターの電源ケーブルを CE790T の電源ジャックに接続してください。
7. 次に、CE790R 側で、レシーバーのコンソールデバイス(マウス、キーボード、モニター、スピーカー、マイク)をリアパネル側の該当ポートにそれぞれ接続してください。
8. カテゴリ 5e ケーブルのもう片方の端を CE790R リア側にある LAN ポートに接続し、このケーブルをネットワークハブに接続してください。
9. 製品に同梱されている 2 つ目の電源アダプターを AC 電源に接続し、この電源アダプターの電源ケーブルを CE790R の電源ジャックに接続してください。
10. OSD を使って CE790T のネットワーク設定を行ってください。設定を行ったら、CE790R のネットワーク設定も同様に行ってください。詳細については p.32「OSD 機能」をご参照ください。
11. CE790T 及び CE790R について、セットアップに必要な台数分だけ上記の手順でそれぞれセットアップを行ってください。

ネットワークハブ経由で使用する場合の接続図

CE790T/CE790R リアパネル



注意: CE790T フロントパネルのセットアップ図については p.24 をご参照ください。

第3章 OSD 操作方法

概要

本セクションでは、オンスクリーンディスプレイ(OSD)を含めた、CE790 の設定方法と操作方法について説明します。

LED 表示

トランスミッター(CE790T)、レシーバー(CE790R)共に、フロントパネルには操作状況と電源状況を示す LED ランプがついています。各ランプの機能は下表のとおりです。

LED	説明
ステータス	<ul style="list-style-type: none">◆ 通信準備中/通信不良時には緑色に点灯◆ LAN 未接続時には消灯◆ 通信が確立している場合には緑色に点滅◆ ネットワーク帯域幅を大量に使用している場合(VIDEO QUALITY を ULTRA HIGH に設定している場合)には、オレンジ色に点滅
電源	<ul style="list-style-type: none">◆ 電源が入っていない場合には消灯◆ ユニットに電源が入っており、ネットワーク接続が確立されている場合には、緑色に点灯◆ ユニットに電源が入っているものの、ツイストペアケーブルがささっていない等、ネットワーク未接続(通信準備中/通信不良)の場合は、赤色に点灯

OSD の起動

オンスクリーンディスプレイ(OSD)は、製品の操作や設定を行うことのできる、キーボードで操作可能なメニューです。トランスミッター、レシーバーそれぞれに、OSD が搭載されており、製品の操作はすべてこの OSD のメイン画面から行います。OSD を起動する場合は、ユニットのフロントにある OSD ボタンを押すか、キーボードの[Scroll Lock]キーを2回連続で押してください。

注意: OSD の起動用のホットキーは、左側または右側にある[Ctrl]キーに変更することもできます。詳細については p.35「CONFIGURATION」をご参照ください。この時使用するホットキーは、同一キーを連続して2回押すようにしてください。

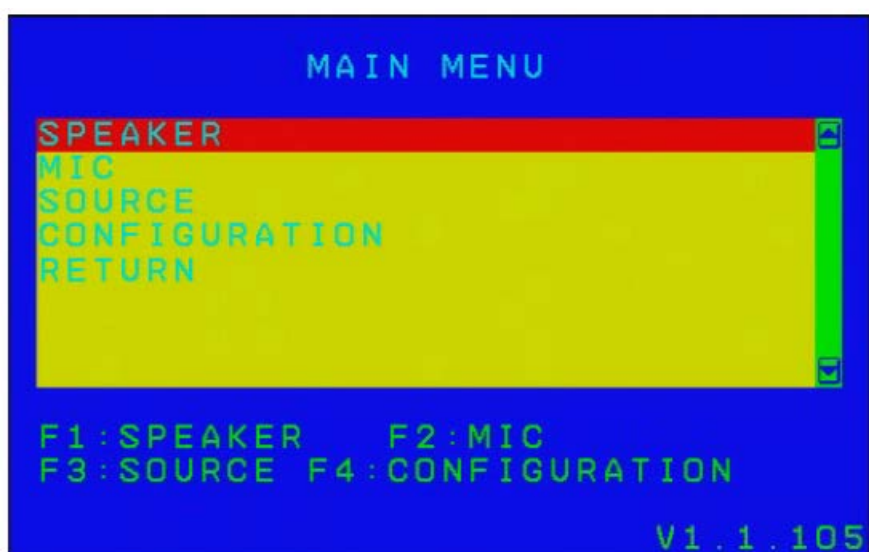
OSD メイン画面

OSD を起動すると、下図のような画面が表示されます。

CE790T



CE790R



OSD ナビゲーション

アクション	方法
CE790T/CE790R ボタンを使用する場合	OSD で選択項目を移動させる場合は、ユニットのフロントにある「OSD」ボタンを使用してください。オプションを選択したら、「Select」ボタンを押して決定してください。
キーボードを使用する場合	OSD の選択項目を上下に移動する場合は、上下のカーソルキーを使用してください。次または前のメニューレベルに移動する場合は、[Page Up]キーまたは[Page Down]キーを使用し、目的のオプションを選択したら[Enter]キーを押してください。
ファンクションキーを使用する場合	メニューレベルによっては、メニューオプションの選択にキーボードのファンクションボタン(CE790T : F1 ~ F6、CE790R:F1~F5)を使用することができます。ファンクションボタンで目的のオプションをダイレクトに選択し、[Enter]キーを押してください。
OSD を終了する場合	OSD を終了する場合は、キーボードの[Esc]キーを押すか、OSD の選択項目を「RETURN」に移動させて、OSD メインメニューに戻ってから、ユニットのフロントにある「Select」ボタンを押してください。OSD 画面が終了し、お使いのコンピュータのデスクトップ画面が表示されます。

OSD 機能

VIDEO QUALITY (CE790T のみ)

CE790 では、Low(低)/Normal(普通)/High(高)/Ultra-High(最高)の画質のビデオデータを転送することができます。ビデオ画質を設定する場合は、以下の手順に従って操作してください。

1. OSD を起動してください(p.29「OSD の起動」参照)。
2. メインメニューから「VIDEO QUALITY」を選択してください。これを選択すると、サブメニューが表示されます。
3. サブメニューから「LOW」、「NORMAL」、「HIGH」、「ULTRA HIGH」のいずれかを選択し、好みの画質に設定してください。

注意: デフォルトでは「NORMAL」に設定されています。

- 1.
-

SPEAKER

スピーカーの ON/OFF は、下記の手順に従って操作してください。

1. OSD を起動してください(p.29「OSD の起動」参照)。
2. メインメニューから「SPEAKER」を選択してください。これを選択すると、サブメニューが表示されます。
3. スピーカーを ON にする場合はサブメニューから「ON」を、OFF にする場合は「OFF」をそれぞれ選択してください。

注意: デフォルトでは「ON」に設定されています。

MIC

マイクの ON/OFF は、下記の手順に従って操作してください。

1. OSD を起動してください(p.29「OSD の起動」参照)。
2. メインメニューから「MIC」を選択してください。これを選択すると、サブメニューが表示されます。
3. マイクを ON にする場合はサブメニューから「ON」を、OFF にする場合は「OFF」をそれぞれ選択してください。

注意: デフォルトでは「ON」に設定されています。

DESTINATION (CE790T のみ)

このメニューでは、イーサネット経由で 1 対多、または多対多で通信する場合に、トランスミッター CE790T の通信先となるレシーバー CE790R の関連付けを行うことができます。

注意:

1. ネットワークポロジリーを設定する場合は、p.36 をご参照ください。
2. CE790R を設定する前に、CE790T のネットワーク設定を行う必要があります。詳細については p.35「CONFIGURATION」をご参照ください。

CE790T の通信先を設定する場合は、以下の手順で操作を行ってください。

1. OSD を起動してください(p.29「OSD の起動」参照)。
2. メインメニューから「DESTINATION」を選択してください。これを選択すると、サブメニューが表示されます。
3. 用途に合わせて下記のどちらかのオプションを選択してください。
 - ◆ NONE - CE790R が何も選択されておらず、すべての CE790R から切断されています。
 - ◆ IP - 特定の IP アドレスに接続が可能です。有効な IP アドレスを入力し、[Enter]キーを押してください。



SOURCE (CE790R のみ)

このメニューでは、イーサネットで既に CE790T 側で 1 対多、または多対多で通信するように設定した場合に、レシーバー CE790R の通信元となるトランスミッター CE790T の関連付けを行うことができます。

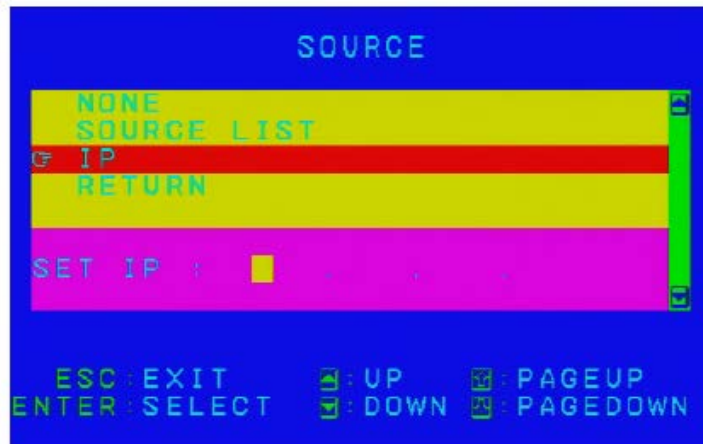
注意: CE790R を設定する前に、CE790T のネットワーク設定を行う必要があります。詳細については p.35「CONFIGURATION」をご参照ください。

CE790R の通信元を設定する場合は、以下の手順で操作を行ってください。

1. OSD を起動してください((p.29「OSD の起動」参照)。
2. メインメニューから「SOURCE」を選択してください。これを選択すると、サブメニューが表示されます。
3. 用途に合わせて下記のどちらかのオプションを選択してください。
 - ◆ NONE - CE790T が何も選択されておらず、すべての CE790T から切断されています。
 - ◆ SOURCE LIST - より詳細なサブメニューが表示され、多対多の通信で使用する CE790T との接続または切断の設定を行うことができます。前のメニューレベルに戻る場合は「RETURN」を選択してください。

注意: この通信元一覧は、「DURATION」で設定された時間間隔に応じてリフレッシュされます。詳細については p.35「CONFIGURATION」をご参照ください。

- ◆ IP - 特定の IP アドレスに接続が可能です。有効な IP アドレスを入力し、[Enter]キーを押してください。



CONFIGURATION

このオプションでは、IP アドレスやサブネットマスクの設定、ネットワーク上でのユニット名の変更、スキャンインターバルの設定、OSD の起動キーの設定といった、CE790T/CE790R の設定を行うことができます。

-
- 注意:**
1. CE790T/CE790R はデフォルトで工場出荷時のネットワーク情報が設定されています。製品を 1 対 1 で使用する場合は、これらのデフォルトのネットワーク設定を変更する必要はありません。詳細については p.38「デフォルト IP アドレス」をご参照ください。
 2. 同一のイーサネットで 1 対多または多対多で使用する場合、CE790T/CE790R にはそれぞれ固有の IP アドレスを設定してください。詳細については p.35 「CONFIGURATION」をご参照ください。
-

CE790T/CE790R を設定する場合は、下記の手順に従って操作してください。

1. OSD を起動してください(p.29「OSD の起動」参照)。
2. メインメニューから「CONFIGURATION」を選択してください。これを選択すると、サブメニューが表示されます。
3. 下記のオプションから必要なものを選択してください。
 - ◆ IP - CE790T/CE790R の IP アドレスを設定することができます。有効な IP アドレスを入力し、[Enter]キーを押してください。

注意: 工場出荷時におけるデフォルト設定については p.38「デフォルト IP アドレス」をご参照ください。

- ◆ IP MASK - CE790T/CE790R の IP マスクを設定することができます。有効な値を入力し、[Enter]キーを押してください。

注意: デフォルトでは 255.255.255.0 に設定されています。

- ◆ NAME - CE790T/CE790R の名前を設定することができます。名前を半角英数字 15 文字以内で入力し、[Enter]キーを押してください。

注意: デフォルトでは CE790T は「CE790T」、CE790R は「CE790R」にそれぞれ設定されています。

- ◆ RECONNECT (CE790R のみ) - CE790R の電源が ON になった際に、前回接続した CE790T に再接続することができます。

- ◆ DURATION - CE790T/CE790R 一覧の設定した秒数毎に確認することができます。30/60/300/100 秒のいずれかを選択してください。

注意: デフォルトでは 60 秒に設定されています。

- ◆ OSD HOTKEY - OSD の起動ホットキーを設定することができます。[SCROLL LOCK] [SCROLL LOCK] / 右側の[CTRL][CTRL] / 左側の[CTRL][CTRL] のいずれかを選択してください。

注意: デフォルトでは[SCROLL LOCK][SCROLL LOCK]に設定されています。

- ◆ BAUD RATE - CE790T/CE790R のボーレートを設定することができます。9600/19200/38400 bps のいずれかを選択してください。

注意: デフォルトの UART は、9600bps、8 データビット、パリティなし、1 ストップビットに設定されています。

- ◆ TOPOLOGY - お使いのネットワークポロジータを設定することができます。MULTI-TO-1(多対 1)、MULTI-TO-MULTIPOINT(多対多)のいずれかを選択してください。

各オプションを選択すると、確認画面が表示され、多対多または 1 対多で使用する際には、データスループットの低下を防ぐために IGMP 対応のハブを使用する必要があるという内容のメッセージが表示されます。ネットワークポロジータの選択を続ける場合は「YES」を選択してください。

注意: トポロジーはトランスミッターCE790T のみの機能です。CE790R の OSD にはこのオプションは表示されません。

RETURN

OSD を終了する場合はこのオプションを選択してください。その後、キーボードで OSD ハイライトバーを動かして OSD メインメニュー画面で「RETURN」を選択し、ユニットのフロントにある「OSD」ボタンを押してください。OSD 画面が終了すると、お使いのコンピューターのデスクトップ画面が表示されます。

デフォルト IP アドレス

工場出荷時に設定されている CE790 の IP アドレスは下記の通りです。

CE790T - 192.168.168.15

CE790R - 192.168.168.16

OSD 機能一覧

CE790T

設定	機能
VIDEO QUALITY	ビデオ圧縮率を設定します。 注意: デフォルトでは NORMAL に設定されています。
SPEAKER	オーディオを ON または OFF にします。 注意: デフォルトでは ON に設定されています。
MIC	マイクを ON または OFF にします。 注意: デフォルトでは ON に設定されています。
DESTINATION	CE790R との接続または CE790R からの切断、特定の IP アドレスへの接続や、ネットワーク上にある CE790R へのブロードキャストを行うことができます。 注意: デフォルトでは NONE および CONNECT (接続) に設定されています。
CONFIGURATION	CE790T の IP アドレスおよびサブネットマスクの設定、CE790T のリネーム、スキャンインターバルの設定、OSD の起動ホットキーの設定がそれぞれ可能です。 注意: OSD 起動キーはデフォルトでは [Scroll Lock]2 度押し に設定されています。
BAUD RATE	ボーレートを設定します。 注意: デフォルトでは 9600 に設定されています。
RETURN	OSD を終了します。

CE790R

設定	機能
SPEAKER	オーディオを ON または OFF にします。 注意: デフォルトでは ON に設定されています。
MIC	マイクを ON または OFF にします。 注意: デフォルトでは ON に設定されています。
SOURCE	CE790T との接続または CE790T からの切断、特定の IP アドレスへの接続や、ネットワーク上にある CE790T へのブロードキャストを行うことができます。 注意: デフォルトでは NONE および CONNECT (接続) に設定されています。
CONFIGURATION	CE790R の IP アドレスおよびサブネットマスクの設定、CE790R のリネーム、スキャンインターバルの設定、OSD の起動ホットキーの設定がそれぞれ可能です。 注意: OSD の起動キーはデフォルトでは [Scroll Lock]2 度押し に設定されています。
BAUD RATE	ボーレートを設定します。 注意: デフォルトでは 9600 に設定されています。
RETURN	OSD を終了します。

第4章

ファームウェアアップグレード ユーティリティ

製品のファームウェアは新しいバージョンがリリースされると、弊社 Web サイト (<http://www.atenjapan.jp>) に公開され、ダウンロードできるようになります。定期的にこのダウンロードサイトにアクセスしていただき、ファームウェアのアップグレードを行うことで、最新の機能をご利用いただけます。

はじめに

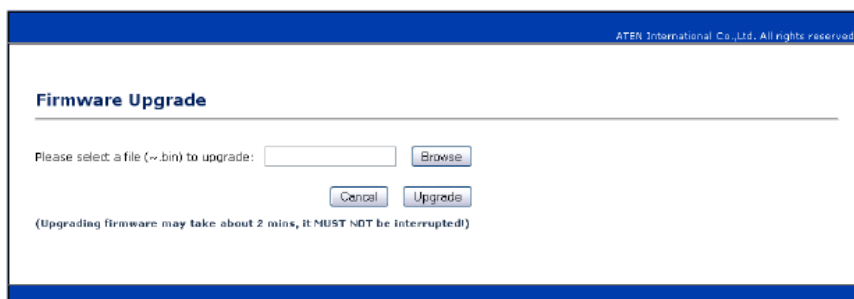
CE790T/CE790R のファームウェアは Web ブラウザから簡単にアップグレードできます(1 回につき 1 台)。ファームウェアを始める前に、以下の手順に従って準備を行ってください。

1. 弊社ダウンロードサイトにアクセスし、CE790 のファームウェアアップグレードパッケージをダウンロードしてください。
2. ファイルをダウンロードしたら、お使いのコンピューターの IP アドレスを CE790T/CE790R と同じネットワークの IP アドレスに変更してください。詳細については p.38「デフォルト IP アドレス」をご参照ください。
3. LAN ケーブルで CE790T/CE790R の LAN ポートとお使いのコンピューターの LAN ポートを接続してください。
4. OSD ボタンを長押ししてください。
5. OSD ボタンを押したままにして、製品本体の電源アダプターを接続してください。
6. OSD ボタンを 3 秒以上押ししてください。フロントパネルの LED が緑色に交互に点滅し、ファームウェアアップグレードモードが有効であることを表します。
7. OSD ボタンから指を離してください。

アップグレードの開始

ファームウェアのアップグレードを実行する場合は、以下の手順で操作してください。

1. Web ブラウザを起動し、下記のアドレスを URL バーに入力してください。
CE790T をアップグレードする場合 - <http://192.168.168.15/upg.htm>
CE790R をアップグレードする場合 - <http://192.168.168.16/upg.htm>
上記のページにアクセスすると、下図のような画面が表示されます。

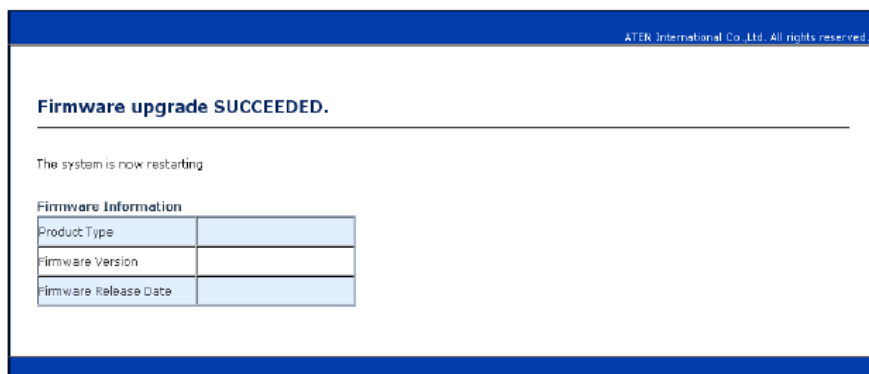


2. 「**Browse**」ボタンをクリックして、事前にダウンロードしておいたファームウェアアップグレードファイルをダイアログから選択した後で「**Upgrade**」ボタンをクリックしてください。アップグレード処理の進行状況はプログレスバーで表示されます。

注意: ファームウェアのアップグレードには数分かかりますので、終了するまでしばらくお待ちください。

アップグレード成功

アップグレードが完了すると、下図のような画面が表示されます。



上図のように、ファームウェアアップグレードに成功したという内容のメッセージが表示されたら、ユニットの電源を入れ直してください。

付録

製品仕様

機能		CE790T	CE790R
コンピューター接続数		1	-
コンソール接続数		1	1
コンピューター側対応 インターフェース	キーボード	USB	-
	マウス		
コンソール側対応 インターフェース	キーボード	USB	
	マウス		
コンピューター側 コネクタ	キーボード	SPHD メス (イエロー)×1	-
	マウス		
	モニター		
	スピーカー	ミニオーディオジャック メス×1	-
	マイク	ミニオーディオジャック メス×1	-
コンソール側 コネクタ	キーボード	USB タイプ A メス×1	
	マウス	USB タイプ A メス×1	
	モニター	D-sub15 ピンメス×1	
	スピーカー	ミニオーディオジャックメス×1	
	マイク	ミニオーディオジャックメス×1	
	RS-232	DB9 ピンメス (ブラック)×1	DB9 ピンオス (ブラック)×1
スイッチ	OSD	プッシュボタン×1	
	選択	プッシュボタン×1	
電源ジャック		DC 電源ジャック×1	
ユニット間接続		RJ-45×1	
LED	ステータス	グリーン/オレンジ×1	
	電源	グリーン/レッド×1	

(表は次のページに続きます)

機能		CE790T	CE790R
キーボード・マウスエミュレーション		USB	
電源仕様(アダプター)		型番:0AD8-0605-24EG 入力:AC 100V~240V 出力:DC5.3V 2.4A	
消費電力		6.62W	6.36W
VGA 解像度		最大 1,920×1,080	
動作環境	動作温度	0~50℃	
	保管温度	-20~60℃	
	湿度	0~80%RH、結露なきこと	
ケース材料		メタル	
重量		500g	480g
サイズ(W×D×H)		200×80×25 mm	
同梱品		2L-5302U(1.8m)ケーブル×1 電源アダプター×2 ラックマウントキット×2 クイックスタートガイド×1	

トラブルシューティング

概要

操作上の問題は様々な理由によって起こります。問題が発生したら、まず、ケーブルが各ポートに正しく接続されていることを確認してください。

問題	解決方法
画面に表示されない。	使用しているケーブルがすべてしっかりと接続されていることを確認してください。
画質が悪い。	OSD を使ってデフォルトのビデオ画質の設定を「NORMAL」から「HIGH」または「ULTRA-HIGH」に変更してください。詳細については p.32 「VIDEO QUALITY」(CE790T のみ)をご参照ください。
画面がずれる	<p>ローカルとリモートそれぞれ同じモデルのモニターを使用していない場合、表示がずれることがあります(特にリモート側が発生しやすい報告を頂いております)。Windows7 以降の PC にてローカル側にモニターを接続していないと正しい映像出力が出来ない原因となるため、ローカル側にモニターまたはEDID エミュレーター(2A-130G または VC010)を接続してください。</p> <p>[CE790T 側がずれている]</p> <p>モニター情報を PC が認識出来ていないと考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none">1. モニターの解像度、リフレッシュレートの設定を確認してください2. モニター→CE790T→PC の順番で電源を ON にしてください3. モニターの自動設定を行ってください。 <p>[CE790R 側がずれている]</p> <ol style="list-style-type: none">1. CE790T が正しく表示されているか確認して下さい。正しい順番で電源が投入されていない場合、正しく表示できなくなることがあります2. ローカル側と異なるモニターをご使用されている場合は、共通して対応する解像度とリフレッシュレートに設定されているか確認してください3. リモート側のモニターで、自動設定など調整を行ってください。

SPHD コネクターについて



本製品は KVM ポート、またはコンソールポートに対して SPHD コネクターを使用しております。コネクターの形状に改良を加えておりますので、専用の KVM ケーブルのみ製品に接続することが可能です。